

# あいちの ふくし

社会福祉法人愛知県社会福祉協議会  
名古屋市東区白壁一丁目50番地

☎(052)212-5500

編集発行人 木村 吉誠

<https://www.aichi-fukushi.or.jp/>

■ 新年のご挨拶 .....	02
■ 各地の社協を訪ねて .....	03
<b>特集</b> 「現場を支える力を育てる」 —福祉人材センターの一般研修をご紹介します!—	04・05
■ 生活支援貸付・債権管理室だより .....	06
■ 施設福祉部だより .....	07
■ 福祉人材センターだより .....	08
■ 福祉生きがいセンターだより .....	09
■ 障害者スポーツ振興センターだより .....	10
■ 愛知県共同募金会だより .....	11
■ 福祉の保険のご案内 第39回ふれあいフォトコンクール入賞者決定 .....	12

2026.01  
no. 513

## 「音楽とコミュニケーションと笑顔の一日」

ピアニスト 秋田 慎治

先日介護施設でピアノを聴いていただけた機会をいただきました。

はじめの何曲かはきつと「存知なんじゃないか」と思う曲を唱歌、歌謡曲、時折ジャズも交えながら聴いていただきましたが、会がすすんでいくにつれて一緒に歌ってもらえるようになり、いつの間にか先に歌い出してくださったものをピアノで追いかける、そんなシーンもあって、その曲もいろいろですね、じゃあこの曲は？こんなのでしょとあれこれ弾いても「こやかに聴いて歌ってのやりとりが弾み、予定だった1時間なんてあっという間。音でコミュニケーションができる楽しくありがたい時間をいただ

きました。

終わってからもうろんな話に花が咲きました。若い頃は中学校で音楽の教諭をされていたという女性。アコーディオンが好きでここにも持ってきているが重すぎてもう大変だと話してくださる男性。本当にありがとう、と涙ながらに握手してくださる男性。たくさん歌ってくださったある女性は、あれれ、私は何歳やったかねえとこやか。

最後の最後、また会いましょうねと会場をあとにした私の背後で聞こえてきたひとは、あんな人は女の人かねえ？...今度は菅原文太さんのような角刈りで来る事も検討します。





## 年頭あいさつ

社会福祉法人 愛知県社会福祉協議会 会長 後藤 澄江

新年あけまして、おめでとうございます。  
皆様には、希望に満ちた輝かしい新年を迎えられたこと、心よりお慶び申し上げます。

昨年は、「いのち輝く未来社会のデザイン」というテーマのもと開催された大阪・関西万博やアスリートの熱戦が繰り広げられた世界陸上、デフリンピックの開催を通じて、日本が福祉・文化・スポーツと様々な分野で世界から大きな注目を集めた一年でした。

そして、全国社会福祉協議会では、社協の活動や組織の基本となる「基本要項」を約33年ぶりに改定するとともに、新たに「全社協 福祉ビジョン2025」が策定されました。

本会といたしましてもこれらの指針を踏まえ、これからの社協の果たすべき役割や、

ともに生きる地域社会の実現に向けた取り組みの方向性について、皆さまと共  
有しながら着実に歩みを進めてまいりたい  
と思います。

一方、超高齢化の進行や度重なる物価高騰といった社会情勢の急激な変化をしつかりと受け止め、誰もが生涯を通して、自分らしく、いきいきと心豊かに暮らせる社会が実現できるよう、常に20年・30年先を見据えこれからの福祉のあり方を考え、行動していくことが何よりも大切です。

福祉分野のみならず、医療や産業、教育等の他分野の方々との連携・交流の更なる活発化に努めるとともに、愛知から福祉の輝きを発信し、本会の基本理念であります『あんしんして・いきいきと・ちいきで・ふつうに・くらせる・しゃかい（あ・い・ち・ふく・し）』の実現を目指してまいります。

今年は、いよいよ愛知・名古屋アジア・アジアパラ競技大会が開催されます。さらに多くの交流と感動の場となることを願っております。

年頭にあたり、本年が皆様やご家族の方々にとって幸多い年でありますよう祈念申し上げます、新年のご挨拶いたします。





# ふくつしいーカフェ（移動カフェ） ―地域に出向き、見えてきたもの―

豊山町社会福祉協議会では、令和3年11月から「ふくつしいーカフェ」を開催しています。

このカフェは、職員が地域に出向いて開催するアウトリーチ型のカフェで、地域の困りごとの発掘や交流の場となることを目的として実施しています。コロナ禍で屋内での飲食や交流がしにくくなったことで、「それならば密にならないようテントを持参して地域に出ていこう!」という発想で始まりました。カフェの名称は、豊山町社協のマスコットキャラクター「ふくつしいー」がみんなの話を聴くのが大好きなことにちなんで名付けました。カフェの看板やお菓子をのせる紙に「ふくつしいー」が登場し、一緒にカフェを盛り上げてくれています。現在は、年に2〜3回ほど地域の公園やお寺、公民館などで開催し、掲示板や回覧板、地域のサロンなどで周知を図り、毎回約15名ほど参加をいただいています。春は桜の木の下で、秋は紅葉を眺めながらと季節を楽しむ機会にもなっています。



▲アンケートへ記入中の様子

参加者の中には各地で開催するカフェに毎回参加することを楽しみにしてくださる方もおり、「私の地区でもやってほしい」というお声もいただいています。また、一緒に準備や片づけ、周知の声かけにご協力いただくなど地域の皆様に支えてもらいながら開催しています。

カフェ内で実施している困りごとをおうかがいするアンケートでは、「今は困っていない」という回答が1番多い結果となりました。しかし、カフェに参加できる皆さんは活動的な方が多いため、本当に



▲桜の木の下で開催

困りごとを抱えている方は、アウトリーチ型のカフェでも参加が難しいのではないかと感じました。また「困っていない」と答えられた方でも深くお話をうかがってみると、少しずつ困りごとをお話してくれたり、今後の心配をお話してくれたりするため、向かい合ってゆっくりお話を聴きすることで見えてくることもあると発見しました。

今後もふくつしいーカフェを通じて地域の方と顔の見える関係をつくり、ゆっくりお話をうかがい、見えてきた課題について一緒に解決していける取組みを検討してまいります。



豊山町社会福祉協議会マスコットキャラクター  
名前 **ふくつしいー**

## プロフィール

しいの木から生まれた犬型の妖精。からだには思いやりの気持ち(ハート)がいっぱいみんなの話を聴くのが大好き! お気に入りの飛行機ポシェットを持って、今日も豊山町内を駆け回ります!

豊山町社会福祉協議会

## 「現場を支える力を育てる」

—愛知県社会福祉協議会 福祉人材センターの一般研修をご紹介します！

福祉の現場では、支援の質を高めるために、職員一人ひとりが継続的に学び、専門性を深めていくことが求められます。そうした学びを支える環境づくりは、職場全体の成長にもつながります。

愛知県福祉人材センターでは、愛知県内（名古屋市内を除く）の福祉施設・事業所等で働く職員を対象に、分野や経験年数に応じた多様な研修を実施しています。初任者から管理者までを対象とした計16種類の研修を通じて、福祉現場を支える人材の育成に取り組んでいます。すべての研修が無料で受講できるので、ごなたでも安心してご参加いただけます。本特集では、これらの研修について、分野別にご紹介します。

### 【基礎研修】

#### ◆はじめの一步を支える学び

福祉の仕事に就いて間もない頃は、日々の業務に追われながらも、「この支援のやり方で合っているのか？」と悩む場面も少なくありません。そうした不安を抱える初任者に向けて分野別の「基礎研修」を実施しています。

の「基礎研修」を実施しています。

いずれの研修も、実務経験が2年未満の職員を対象に、福祉制度の基礎知識や支援の考え方、現場での心構えなどを学ぶ内容となっています。新人職員が自信を持って現場に立つための、第一歩となる研修です。

### 【課題別研修】

#### ◆ニーズに応じた専門性を深める

一定の経験を積むと、より専門的な知識や対応力が求められる場面が増えてきます。そんな初任・中堅層に向けて実施されているのが「課題別研修」です。どの研修も、よりよい支援につながる実践的な内容です。また、同じ分野で働く受講者同士が意見交換や演習を通じて福祉現場への理解を深める機会にもなっています。

### 【業務応用研修】

#### ◆チームを支える職員の力を育む

職場で先輩を指導したり、チームの調整役を担うようになると、より高度な対人スキルやマネジメント力が求められます。そうした中堅・上級職員に向けたのが「業務応用研修」です。組織

の中でリーダーシップを発揮するための視点や、円滑なチーム運営に欠かせないコミュニケーションの工夫についても学べます。

分野を問わず参加できるため、幅広い立場の職員がそれぞれの課題に向き合い、次のステップに進むためのヒントが得られる内容となっております。

### 【受講者の声をご紹介します】

実際に研修を受講された方からは、次のような声が寄せられています。

●まだ仕事を始めて日は浅いですが、そんな私でも理解しやすく今後に必ず役に立つ良い研修だと思いました。（高齢者福祉関係職員 基礎研修）

●他の園の保育士さんと悩みを共有したり、子どもとの関わりについて自分の思いつかない視点からの意見がもらえて良い機会になりました。参加でき良かったです。（保育におけるこころの発達支援研修）

●「面接の技術」について、とてもおもしろい内容でした。新人教育の場で「こういうことを考えている

んだ」とか「こういう事は困難なんだ」という新人の気持ちを忘れてしまっていたので、参考になりました。（相談・面接技術向上研修）

こうした声から、研修受講が日々の実践を見直し、支援の質を高めるきっかけになっていることがわかります。

### 【最後に】

福祉の仕事には、決まった正解があるわけではありません。職員一人ひとりの判断や工夫が、支援の質を大きく左右します。だからこそ、現場で働く職員が安心して学び、自信を持って支援に臨める環境が必要です。愛知県福祉人材センターの一般研修は、その学びの場として、今後も福祉人材の育成と現場支援に取り組んでいきます。福祉の現場で働く皆さんが、「学び続けること」で自分自身を育て、そして誰かの支えになる——そんな循環をこれからも大切にしていきたいと思っています。

各研修の詳細はこちらから



## ■ 一般研修一覧

全ての研修が無料で受講できます！

### ◆施設・事業所研修

研修名	対象者
障害者（児）福祉関係職員基礎研修	初任者向け（障害分野での勤務年数2年未満）
高齢者福祉関係職員基礎研修	初任者向け（高齢者分野での勤務年数2年未満）
児童福祉関係職員基礎研修	初任者向け（児童分野での勤務年数2年未満）

### ◆課題別研修：障害者分野

研修名	対象者
サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者 フォローアップ研修	管理職向け （サビ管・児発管実践研修又は更新研修修了者）
発達障害者支援研修	初任者～中堅者向け
障害者の就労支援基礎研修	初任者向け（就労支援事業所等で実務経験2年未満）

※「障害者の就労支援基礎研修」は、就労選択支援員養成研修の基礎的研修又は基礎的研修と同等以上の研修ではありません。

### ◆課題別研修：高齢者分野

研修名	対象者
地域包括ケア研修	中堅者～上級者向け（自立生活支援に携わる方）
高齢者事業所における対人援助スキルアップ研修	初任者～中堅者向け
介護記録の書き方研修	介護記録業務に携わる方

### ◆課題別研修：児童福祉分野

研修名	対象者
発達障害児・被虐待児に係る研修	児童福祉に携わる関係機関に勤務する方
児童虐待対応研修	児童福祉施設に勤務する方
保育における心の発達支援研修	保育所職員、保育士、児童福祉施設職員の方

### ◆業務応用研修

研修名	対象者
相談・面接技術向上研修	社会福祉行政機関、社会福祉事業従事者で 相談業務を担当する方
人材育成のためのコミュニケーション研修	中堅者～上級者向け（児童・高齢・障害の全ての分野を含む）
スーパービジョン研修	上級者～管理職向け（児童・高齢・障害の全ての分野を含む）
目的に合わせたレクリエーション構築研修	社会福祉事業にかかわる施設・事業所で利用者支援業務に 携わる方（児童・高齢・障害の全ての分野を含む）

※愛知県内に所在する事業所（名古屋市を除く）に勤務する方が対象です。

※記載の内容はすべて令和7年度時点のものです。内容が変更される場合がありますので、最新情報は

愛知県社協HP <https://www.aichi-fukushi.or.jp/training/general.html> をご確認ください。

「生活福祉資金貸付制度と生活困窮者自立支援制度との連携研修会」を令和7年10月21日に、栄カスホールにて開催しました。

本会では、生活困窮者に対する包括的な支援体制を確立することを目的とし、令和4年度から「生活福祉資金貸付制度と生活困窮者自立支援制度との連携研修会」を市区町村社会福祉協議会と自立相談支援機関の事務担当者を対象に開催し、両制度の立場・役割の相互理解、担当者の顔が見える関係づくりを進めてきました。令和6年度からは愛知県との共催となっています。

今回の研修では、午前の部・午後の部に分けて研修を行い、72名（生活福祉資金貸付制度担当者43名・自立相談支援制度担当者29名）にご参加いただきました。

午前の部では、①「生活福祉資金貸付制度について」を本会から、②「生活困窮者自立支援制度について」を愛知県福祉局福祉部地域福祉課から、制度の創設経緯や概要等について説明しました。

午後からは、生活困窮者支援の取り組み状況について情報や事例を共有し、相互の理解を深め、他機関で協働できる支援体制を構築することを目的とし、「グループワーク」を行いました。①「所属する事業所でのどのような支援（取り組み）を実施しているか。」②「生活困窮者支援の事例を共有する。（成功事例と困難事例について）」の2つのテーマについて、グループごとに共有・発表をいただきました。

また、「講演（講義・グループワーク）」においては、ビヨンドザボーダー株式会社代表取締役の安藤亘氏をお迎えし、「福祉現場における心のセルフマネジメント～自己理解を深めてストレスをコントロールしよう～」をテーマにご講演をいただきました。この講演では、日頃の相談支援業務における支援の質の向上を目的として、支援者側の思考の傾向など自己理解を深めつつ、ストレスマネジメントの方法等について、グループワークを交えながら学びました。

研修後に実施したアンケートでは、「貸付制度の概要について改めて知るこ

とができた。両制度の立場・役割を相互理解し連携していきたい。」や、「各担当者が抱える課題を共有すること、その際の対応事例を学ぶことができ、今後の業務の参考になった。」ワークを通して自身の特性に気づくことができた。自己の特性を理解して今後業務に取り組みたい。」などの感想をいただき、この研修がこれからの地域における支援の中で活かされていくことを期待しています。

時 間	内 容
10:30 (5分)	開 会 あいさつ 愛知県福祉局福祉部地域福祉課
10:35 (70分)	制度説明 ①「生活福祉資金貸付制度について」 愛知県社会福祉協議会 生活支援貸付・債権管理室 ②「生活困窮者自立支援制度について」 愛知県福祉局福祉部地域福祉課
11:45～13:00	昼 休 憩
13:00 (90分)	グループワーク 各事業所における生活困窮者支援の取り組み状況について情報や事例を共有し、相互の理解を深め、他機関で協働できる支援体制の構築をめざします。 【テーマ1】所属する事業所でのどのような支援（取り組み）を実施しているか。 【テーマ2】生活困窮者（生活福祉資金借受人を含む）支援事例を共有する。（成功事例と困難事例について）
14:30～14:40	休 憩
14:40 (140分)	講 演〔講義・グループワーク〕 「福祉現場における心のセルフマネジメント～自己理解を深めてストレスをコントロールしよう～」 講 師 ビヨンドザボーダー株式会社 代表取締役 安藤 亘 氏
17:00	閉 会



■研修の様子

施設  
紹介

社会福祉法人 三幸会

## 幼保連携型二ども園 猿渡保育園

園長 北村 信人

昭和30年5月5日に地域の子育ての場として60人定員の木造園舎にて個人立として開設されました。知立市のほぼ中央に位置し、猿渡川、遍照院（弘法様）、猿渡小学校、知立高校と適度な自然と住環境に恵まれた地域です。

昭和62年に法人化、平成13年に待機児童の増加により90人に定員を変更しましたが、さらなる待機児童対策により、平成22年園舎の改築と定員変更（200人）をしました。令和3年4月に誰でも通所できる幼保連携型認定こども園に移行し、現在に至ります。

開園当初は、農業従事者の子どもたちを保育することが主であったようですが、現在は一般企業に勤める方も多く、名古屋への通勤範囲でもあることから、開所時間も朝7時から夜7時までと子どもにとっては長い保育時間となっています。

保育は、0歳（3ヶ月）から就学前まで行っており、2歳児から5歳児は

4つのグループに分け、分棟型異年齢

保育を実施しています。0歳児から1歳児までは、月齢に応じて6つのグループに分けて行っています。保育士はそれぞれ3名のグループで配置しています。幼児棟は1棟1棟分棟し、スキップフロアの2.5階建てです。また各棟は4つの部屋に分かれており、それぞれが好きな場所で遊べるようになっていきます。各棟には保育士室もあり、子どもの近くで、事務仕事もできるようになっています。園庭は2,000㎡と広く、トラック、総合遊具、果樹、高さ4メートルのどんぐり山があります。

保育方針は「子ども一人ひとりを主体として尊重し、その子が“自律”するための保育およびその子が持つ個性や可能性を大切にしたい保育をめざし、将来、人として豊かに生きる力の基礎を育てていく。」であり、自分の人生を自身で切り開いてもらいたいと思っ

ています。

保育は基本的に生活の場であるため、日々の生活は異年齢での育ち合いを主に、個々の育ちのモデルとして兄弟（姉妹）を経験できるようにしています。また、活動はそれぞれの学年で発達に応じた保育を実施しています。この時期の子どもは、食が大切であるため、有機、低農薬食材を中心に提供しています。また、生活リズムを整えることも大切であるため、懇談会、おたよりなどで保護者と話し合う機会を多く設けています。

すべてにおいて、子どもにとって楽しい場であることが大切であり、子どもたちが日々の葛藤と向き合い、保育者の援助を受けながら乗り越え、折り合いを付け多くの経験を経て、たくましく育つことを願っています。

園舎1階



園舎2階



▲園舎配置図



▲グラウンド見取り図



園庭のどんぐり山



## 福祉の資格取得を目指す方

資格の種類	支援の種類	貸付額	全額免除に必要な就労時間	申込先
介護福祉士	修学資金等	2年間 最大168万円 4年間 最大296万円	5年間 在職が1825日以上 かつ、業務従事900日以上	在学中の養成施設
	福祉系高校修学資金等	3年間 最大44万円	3年間 在職が1095日以上 かつ、業務従事540日以上	在学中の福祉系高校
	実務者研修受講資金	20万円以内	2年間 在職が730日以上 かつ、業務従事360日以上	在学中の養成施設
社会福祉士	修学資金等	1年間 最大100万円 (1年以上の場合もあり)	5年間 在職が1825日以上 かつ、業務従事900日以上	在学中の養成施設
保育士	修学資金等	2年間 最大160万円	5年間	在学中の養成施設

## 福祉業界への就職を目指す方

資格の種類	必要な資格・研修	貸付額	全額免除に必要な就労時間	必要な実務経験	申込先
再就職準備金	初任者研修 以上	40万円以内	2年間 在職が730日以上 かつ、業務従事360日以上	1年以上 在職が365日以上かつ 業務従事180日以上	愛知県 福祉人材 センター
介護分野就職支援金		20万円以内	2年間 在職が730日以上 かつ、業務従事360日以上	無	
障害福祉分野就職支援金		20万円以内	2年間 在職が730日以上 かつ、業務従事360日以上	無	
潜在保育士就職準備金	保育士	40万円以内	2年間 (週20時間以上)	無	
未就学児を持つ保育士に 対する保育料の一部貸付		保育料の半額 (月額上限2.7万円) 最大32.4万円	2年間 (週20時間以上)	無	

(注) 就職先、申請方法、要件など、詳しくはホームページ等でご確認ください。

貸付制度HP▶ <https://www.aichi-fukushi.or.jp/purpose/loan/loan.html>

## 【介護支援専員実務研修受講試験】愛知県は710人が合格！

第28回愛知県介護支援専門員実務研修受講試験は、10月12日(日)に全国47都道府県で実施され、愛知県では2,277人の方が愛知県立大学、名古屋大原学園、愛知県社会福祉会館の3会場で受験しました。

11月25日(火)に合格者が発表され、愛知県は合格者710人、合格率31.2%という結果でした。

合格者が介護支援専門員になるためには、2月から行われる計87時間の

「介護支援専門員実務研修」を修了し、県に登録することが必要です。

研修の詳細は、愛知県社会福祉協議会HPに掲載中ですのでご覧ください。

ケアマネ研修HP▶ <https://www.aichi-fukushi.or.jp/training/caremanager.html>



# 福祉生きがいセンターだより

## 令和8年度 あいちシルバーカレッジ学生を募集します！

あいちシルバーカレッジは、現在33年目を迎え、昨年度には卒業生が1万4千人を超えました。卒業生からは、「新しい友達ができて日々が充実した。」「久しぶりに学生気分を味わえて若返った。」などの声が聞かれます。  
ぜひ、みなさんもあいちシルバーカレッジに応募してみませんか。

### 《募集要項》

#### 対象

愛知県内にお住まいの満60歳以上（昭和41年4月1日以前生まれ）の方で、通学及び各種講義に出席できる方。（ただし、過去にあいちシルバーカレッジに在籍された方は除きます。）

#### 修学年限

1年（年間30日程度）

#### 費用（予定）

入学金 1万円

授業料 1万3千3百円（年額）

#### 募集定員

計630名

#### 応募締切

2月10日（火）（必着）

#### 申込方法

各市町村社会福祉協議会、各県民相談室、市区町村役場等に配布する専用申込書を郵送。

#### 申込み・問い合わせ

愛知県社会福祉協議会  
福祉生きがいセンター  
住所・電話番号  
〒461-0011  
名古屋市東区白壁一丁目50番地  
電話（052）212-5521

### 令和8年度 新入生 募集!!



講義内容等の詳細は本会福祉生きがいセンターのホームページをご覧ください。

ホームページアドレス

<http://aichoju.ec-net.jp/>

### 募集定員一覧

学科名	募集定員	開講場所
名古屋A文化教養学科	100名	愛知県社会福祉会館 名古屋市東区白壁一丁目50番地
名古屋B文化教養学科	100名	
名古屋生きがい健康学科	100名	
豊橋文化教養学科	80名	豊橋市民センター（カリオンビル） 豊橋市松葉町二丁目63番地
岡崎文化教養学科	100名	岡崎市図書館交流プラザ（りばら） 岡崎市康生通西四丁目71番地
一宮文化教養学科	90名	尾州ファッションデザインセンター（FDC） 一宮市大和町馬引字南亀4番地の1
東海生きがい健康学科	60名	東海市勤労センター 東海市高横須賀町榎形1番地の7
		東海市しあわせ村（9月・10月のみ） 東海市荒尾町西廻間2番地の1



■入学式の様子



■レクリエーション講義の様子

# 障害者スポーツ振興センターだより

琵琶湖でみんなが輝く、滋賀県で元気あふれる全力プレー!!

## 第24回 全国障害者スポーツ大会 「わたSHIGA輝く障スポ2025」

令和7年10月25日(土)～27日(月)  
の3日間にわたり、第24回全国障害者  
スポーツ大会「わたSHIGA輝く障  
スポ2025」が滋賀県で開催されま  
した。愛知県からは、個人・団体競技あ  
わせて、過去最大人数となる、個人競  
技6競技・団体競技7競技の計225  
名の選手、役員が参加しました。

大会に向けて練習を重ね、気合い充  
分の選手・役員が、23日(木)、愛知県  
選手団の青と白のユニフォームを身に  
まとい、愛知県議会議事堂に集まり、  
競技ごとにバスに乗って滋賀県に向け  
て出発しました。

練習の成果を発揮できる大きな機会  
に、選手の皆さんはこれからの期待と  
不安が入り混じりながらも、家族や知  
人に見送られ、引き締まった表情で滋  
賀県に出发しました。

選手たちは、大会前日の24日(金)  
の公式練習で、現地練習を行い、翌日

以降の競技に備え、念入りに調整を行  
いました。

平和堂HATOスタジアムで行われ  
た開会式では、合計91名の陸上・ボツ  
チャ・ボウリング・バレーボール(聴覚  
障害/男子・女子)競技の選手・役員  
の皆さんが、帽子を振り、元氣いっぱい  
の姿で入場を見せてくれました。

各競技会場では、監督やコーチのサ  
ポートを受け、選手たちが全力で競技  
に挑みました。

また、競技の合間の時間も、「おもて  
なSHIGAエリア」でお土産を買っ  
たり、同じ競技に出場する仲間や他県  
の選手、大会ボランティアの皆さんと  
交流したり、閉会式での会場演出やス  
ペシャルステージに目を奪われたり  
と、競技以外の時間も、選手にとって  
充実した、かけがえのない時間となり  
ました。

陸上、水泳、卓球、フライングディス

ク、ボツチャ、ボウリングの各個人競  
技では、水泳競技で1名が大会新記  
録を記録し、全競技合計で56個のメ  
ダル(金メダル26個、銀メダル15個、  
銅メダル15個)を獲得する等、めざ  
ましい活躍を見せてくれました。

また、団体競技では、7競技に出  
場し、バレーボール(聴覚)男子が優  
勝、車いすバスケットボール、グラン  
ドソフトボールが準優勝、バスケット  
ボール(知的)女子、ソフトボール、  
バレーボール(聴覚)女子が第3位、  
バレーボール(知的)男子は、交流戦  
に回り優勝するなど、素晴らしい成  
果となりました。

成績はもちろんですが、大会期間  
中、共に過ごした仲間たちや、現地  
スタッフと共に過ごした経験が、選  
手たちにとって刺激となり、次なる  
目標を見つけ、輝かしい表情でそれ  
ぞれの日常へ戻っていききました。

来年は、令和8年10月23日(金)  
～26日(月)に、青森県にて、第25回  
全国障害者スポーツ大会「青の煌め  
きあおもり障スポ」が開催されます。  
同大会でも、愛知県選手団の皆さ  
んへ熱い応援をよろしく願いま  
す。



■結団式(10/11・土)  
於:愛知県社会福祉会館



■グランドソフトボール  
10年ぶりの全国大会出場!



■バスケットボール(知的)女子&車いすバスケ



■愛知県選手団 堂々の入場行進



■バレーボール(聴覚)男子・女子 男子は2連覇達成!



■閉会 大会旗は青森へ

※写真:愛知県障害者スポーツ指導者協議会 顧問 森長 研治氏



## 愛知県共同募金会だより

### 歳末たすけあい運動にご協力ありがとうございました

共同募金運動の一環として、毎年12月1日から12月31日まで「歳末たすけあい運動」を展開しています。令和7年度も各市区町村では、「つながり ささえあう みんなの地域づくり」をスローガンに「地域歳末たすけあい募金」を実施しました。また、愛知県共同募金会では、報道関係機関（NHK、中部日本放送、東海テレビ福祉文化事業団、名古屋テレビ放送、中京テレビ放送、テレビ愛知、中日新聞社会事業団）のご協力の下、「報道関係歳末たすけあい募金」を実施しました。

報道関係歳末たすけあい募金を財源に、日常生活に困難を抱える人たちを支援する活動や、孤立、孤独の問題などさまざまなかたちで顕在化していく地域課題に取り組む活動を支援します。令和7年度の歳末たすけあい運動にご協力いただいた皆さまに厚くお礼申し上げます。誠にありがとうございました。



■12月1日には、NHK名古屋放送局窓口に、愛知学泉短期大学附属幼稚園の皆さんがかけつけてくれました

### 第77回赤い羽根協賛児童生徒作品コンクール

「第77回赤い羽根協賛児童生徒作品（書道・ポスター）コンクール」を実施したところ、県内の小・中学生から、92,105点の応募がありました。各市区町村共同募金委員会による第1次審査を経て提出された作品の審査の結果、書道・ポスターの特賞入賞者を決定しました。

#### 《ポスターの部 愛知県知事賞》



稲沢市立法立小学校  
4年 栗山 実季



滝中学校  
1年 森本 在

#### 《書道の部 愛知県知事賞》



刈谷市立日高小学校  
6年 飯海 夏実



岩倉市立岩倉中学校  
2年 松山 心優

〔審査員 愛知県立芸術大学名誉教授 細川 修〕

愛知県知事賞・小4 栗山実季 多くの人が赤い羽根共同募金運動に協力し、継続していくことが未来に向かって大きな力となり、多くの支援に繋がることが赤い羽根の山から想像出来ます。援助や配慮を必要とする人たちの気持ちをよく表しています。

愛知県知事賞・中1 森本 在 言葉の持つ力で赤い羽根共同募金運動の意図を効果的に表現しています。白地に赤い文字とイラストを配置し、見る人にインパクトを与えるアイデアが秀逸です。心豊かな社会を実現する共同募金の趣旨がよく伝わる秀作です。

《ポスター・評》 今年も愛知県の各地域から素晴らしい「赤い羽根共同募金」ポスターがたくさん応募され、大変嬉しく思いました。今年の応募作品はポスターに欠かせない情報を伝える標語（コピー）に共同募金運動の趣旨が人に良く伝わる様な効果的で印象に残る言葉が表現している作品が多くあり、感動しました。

愛知県知事賞・小6 飯海夏実 楷書の基本に忠実で、筆運びに力強さと品格が感じられます。始筆・終筆が丁寧で、基本点画の筆遣いに安定感があります。文字の結構のバランスもよく、心地よい緊張感が伝わる優秀な作品です。

〔審査員 愛知教育大学名誉教授 木村博昭〕

《書道・評》 今回も多くの皆さんの応募があり、真心のこもった作品から、思いやりや社会への関心が強く伝わってきました。一点一画に込められた願いが、地域の支え合いの輪を広げる力となります。書写を通じて人と人をつなぐ温かな言葉が紡がれていくことを期待しています。皆さんの未来に大きな希望を感じています。

入賞作品は本会ホームページにてご覧いただけます。

<http://www.aichi-akaihane.or.jp>

# ソウェルクラブ

(福利厚生センター) ご加入のおすすめ

新規会員  
募集中!

会員数 約270,000人 /

## 職員の健康管理のために

- 生活習慣病予防健診費用助成
- 健康生活用品給付
- スポーツクラブ ●電話健康相談

## 職員の余暇活用のために

- 指定保養所…休暇村、KKR、グリーンピア
- 会員制リゾート施設…ラフォーレ倶楽部 セラヴィリゾート泉郷
- クラブ・サークル活動助成
- 国内・海外旅行
- レンタカー ●カルチャースクール等

## 職員の生活サポートのために

- 住宅ローン ●特別資金ローン
- ソウェル団体生命保険・傷害保険
- 小売店、引越サービス、文具・消耗品、書籍等

## 各種情報提供

- 会員情報誌 ●ホームページ

## 職員の慶事のお祝いに

- 結婚お祝品贈呈 ●出産お祝品贈呈
- 入学お祝品贈呈
- 永年勤続記念品贈呈
- 長期勤続者退職慰労記念品贈呈

## 職員の資質向上のために

- 資格取得記念品贈呈
- メンタルヘルス講習会
- 接遇講習会
- ハラスメント防止講習会
- e-ラーニング  
(Excel, Word, PowerPoint, コンプライアンス、メンタルヘルス)

## 地域に密着した事業

- 会員交流事業(旅行・観劇・スポーツ大会等)
- 地域開発メニュー

## 職員の万一の際に

- 会員の死亡弔慰金
- 会員の配偶者の死亡弔慰金
- 会員の入院・手術見舞金
- 災害見舞金

## 国内外20万件以上の施設やサービスを会員価格で利用できる

- ソウェルクラブ「クラブオフ」

加入要件

- ・契約対象者…社会福祉事業又は介護保険事業を営業者
- ・加入対象事業…社会福祉事業又は介護保険事業
- ・加入対象者…上記事業に従事する役職員全員(非常勤職員含む)

掛金

- ・第1種会員(常勤職員向け) …… 毎年度1万円
  - ・第2種会員(非常勤職員向け) …… 毎年度5千円
- ※非常勤職員が第1種に入会することもできます。  
※第2種会員は、利用できるサービスが一部限定されます。

ソウェルクラブ  
Sowel  
CLUB

加入申し込み、お問い合わせは、  
フリーダイヤル  
TEL ☎0120-292-711  
FAX ☎0120-292-722  
https://www.sowel.or.jp/  
社会福祉法人 福利厚生センター  
〒101-0052  
東京都千代田区神田小川町1-3-1  
NBF小川町ビルディング



## 第39回ふれあいフォトコンクール入賞者決定!

今年で第39回目となるふれあいフォトコンクールでは、プリント部門・WEB部門ともに、地域でのふれあいの一場面や、福祉に関する写真を県内外より多数ご応募いただき、27名の入賞者が決まりました。

なお、入賞作品は、本会facebookに掲載予定です。



ホームページ

<https://www.aichi-fukushi.or.jp/>

電話番号

(052)212-5500

第39回ふれあいフォトコンクール  
プリント部門 愛知県知事賞  
「楽しい餅つき」  
(篠田光雄さん撮影)

Q&A

## 福祉の保険

「ボランティア活動保険」

Q

ボランティア活動中にケガをしました。どのように手続きをしたらいいですか?

A

速やかに加入手続きをした市区町村社会福祉協議会へご報告ください。詳しくは、本会ホームページ「福祉の保険」「事故が起きたら…」の項目をご覧ください。

加入手続き・お問い合わせは、お住まい又は活動場所の市区町村社会福祉協議会へ

取扱代理店 (株)ニュータス TEL.0120-258-517

引受保険会社 三井住友海上火災保険(株) TEL.052-223-4172

◆ 保険の内容については、本会ホームページ「福祉の保険」をご覧ください ◆

家庭常備薬等斡旋をご活用ください。  
あなたのセルフメディケーションを  
応援します。



健康を考える

白石薬品株式会社



あんしんして いきいきと ちいさで ふつとに くらせる しゃかい

